

日本盲導犬協会に 100 万円を寄付しました

令和 7 年 9 月 10 日

令和 7 年 9 月 10 日（水）、ホテルプラム（横浜市西区）において開催された神奈川福祉事業協会臨時理事会の席上で、公益財団法人日本盲導犬協会に 100 万円を寄付しました。

この取り組みは目の不自由な方の福祉向上を目的とするもので、日本盲導犬協会の金高雅仁理事長と山口義之専務理事をお迎えし、寄付目録贈呈式を行いました。

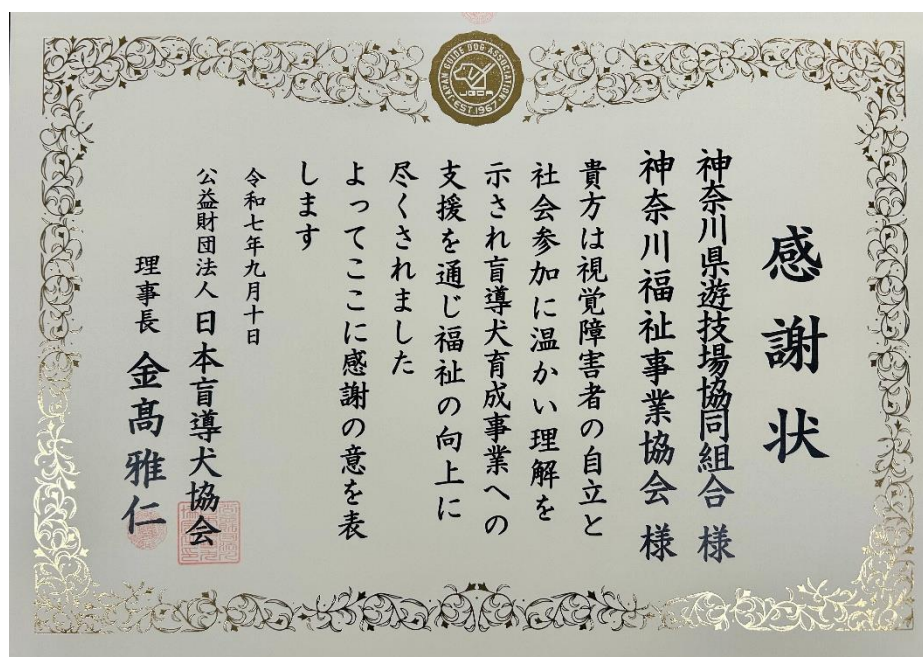
また、贈呈式には訓練犬ラピス（雌 1 歳）も参加しました。



左から 伊坂会長、金高理事長、山口専務理事、訓練犬ラピス

贈呈式では伊坂会長（神奈川県遊技場協同組合理事長）から金高理事長に寄付目録をお渡ししました。

金高理事長からは、「盲導犬がいて行きたいところに初めて行けると
いう方たちが、自由に行動できる社会を目指している。今回いただいた
寄付で盲導犬を育成していきたい。」と感謝の言葉をいただくとともに、
立派な感謝状をいただきました。



盲導犬協会への寄付は 15 年ぶりになりますが、目の不自由な人にとって大切な盲導犬の普及を促進し、盲導犬に対する人々の理解を深めることのできるよう、私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。